

(2) 高知県産農林水産物の輸出や取り組みの現状について

平成30年2月26日

四国地方整備局 港湾空港部

1. 高知県産農林水産物の出荷状況（国内出荷、輸出）
 - 1－1. 高知県産農林水産物の出荷状況
 - 1－2. 高知県産農林水産物輸出の状況
 - 1－3. 農産物の輸出状況
 - 1－4. 林産物・水産物の輸出状況
2. 高知港における農林水産物の輸出状況

1. 高知県産農林水産物の出荷状況(国内出荷、輸出)

(1) 高知県産農林水産物の出荷状況

- 青果物の出荷量は平成26年実績で(以下同年実績)93千トンで、出荷額は560億円。シシトウ、ミョウガ、ニラ、しょうがの出荷量については、全国の中で高知県産が最多。
- 加工食品の出荷額は506億円(飲料、水産加工品除く)で、全国の0.2%を占める。
- 林産物の出荷額は144億円で、全国の2.2%を占める。
- 水産物の出荷額は、加工品以外が495億円で、加工品が172億円。

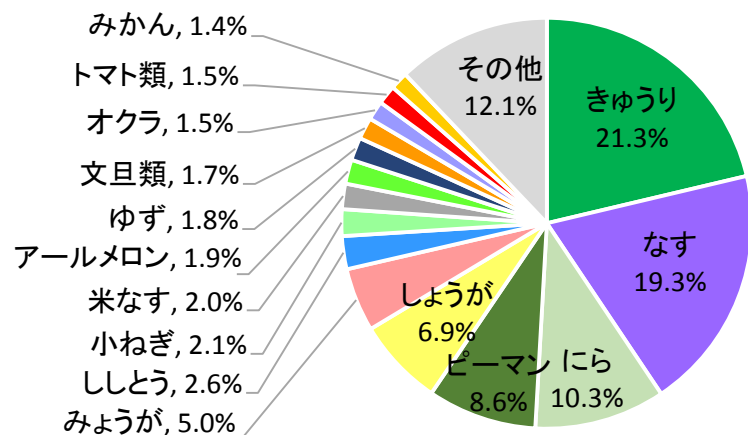
■ 高知県産品の出荷状況(平成26年)

	出荷量 (生産量)	出荷額 (生産額)	出荷額の全国 に占める割合
青果物	93千トン	55,978百万円	不明
加工食品	不明	50,639百万円 <small>※飲料、水産加工品を除く</small>	0.2%
林産物(製材品)	233千m ³	14,369百万円	2.2%
水産物(海面漁業・養殖業)	92,126トン	49,534百万円	3.5%
水産加工品	11,072トン <small>※冷凍水産物を除く</small>	17,180百万円	不明

出典: 農林水産省統計、林業統計、工業統計(製造品出荷額)、及び高知県への聞き取り調査

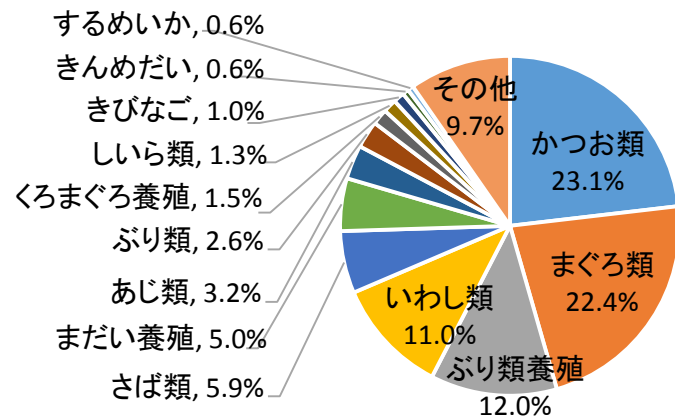
※水産物(海面)については、生産量及び生産額を記載。

(参考) 青果物の出荷量の内訳(H26.9.1~H27.8.31)



出典: 高知県園芸連のご案内

(参考) 水産物の生産量(平成26年)



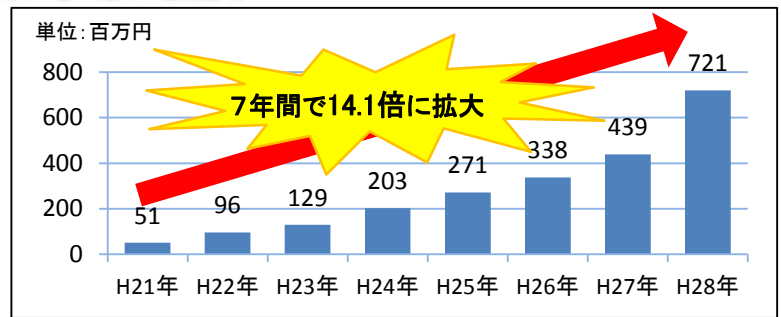
出典: 高知県水産振興部行政要覧より四国地方整備局作成

1. 高知県産農林水産物の出荷状況(国内出荷、輸出)

(2)高知県産農林水産物輸出の状況

- 高知県では、海外での商談会や、海外バイヤーを招聘した現場見学会等の取り組みを実施している。
- 平成28年の高知県の食料品輸出は、ユズや日本酒を中心に約7億円となり、前年比64.1%増となった。
- 一方で、青果物、加工食品、林産物、水産物の各出荷額は数百億円規模であり、出荷額に対する輸出額は極めて少なく、今後更に高知県産品を輸出できる可能性がある。

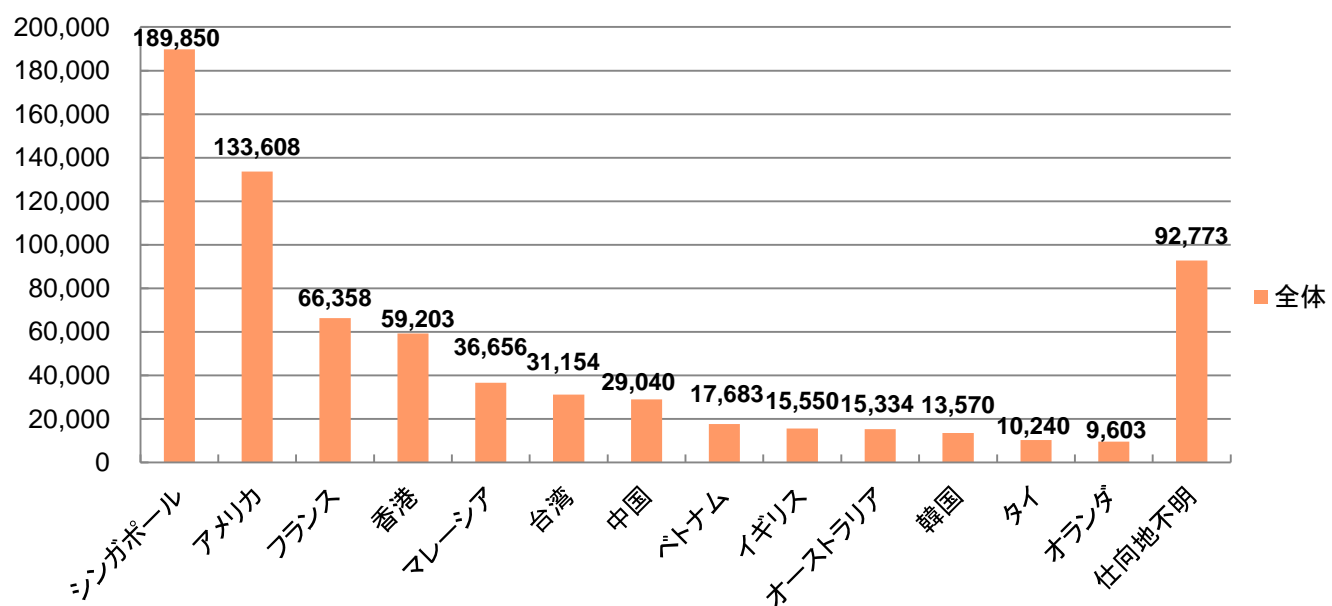
【表1】 輸出額推移



【表2】 品目別輸出額推移

品目名	H26年(2014)	H27年(2015)	H28年(2016)	前年対比(H27/H28)
食品(酒類以外)	237,927千円	298,604千円	550,263千円	84,3%増
酒類	100,500千円	140,636千円	170,359千円	21,1%増
計	338,427千円	439,240千円	720,622千円	64,1%増

【表3】 H28年の国別輸出額



(単位:千円)

シンガポールの量販店バイヤーを招聘した産地検討会



水産物輸出促進セミナー(すくも湾漁協)



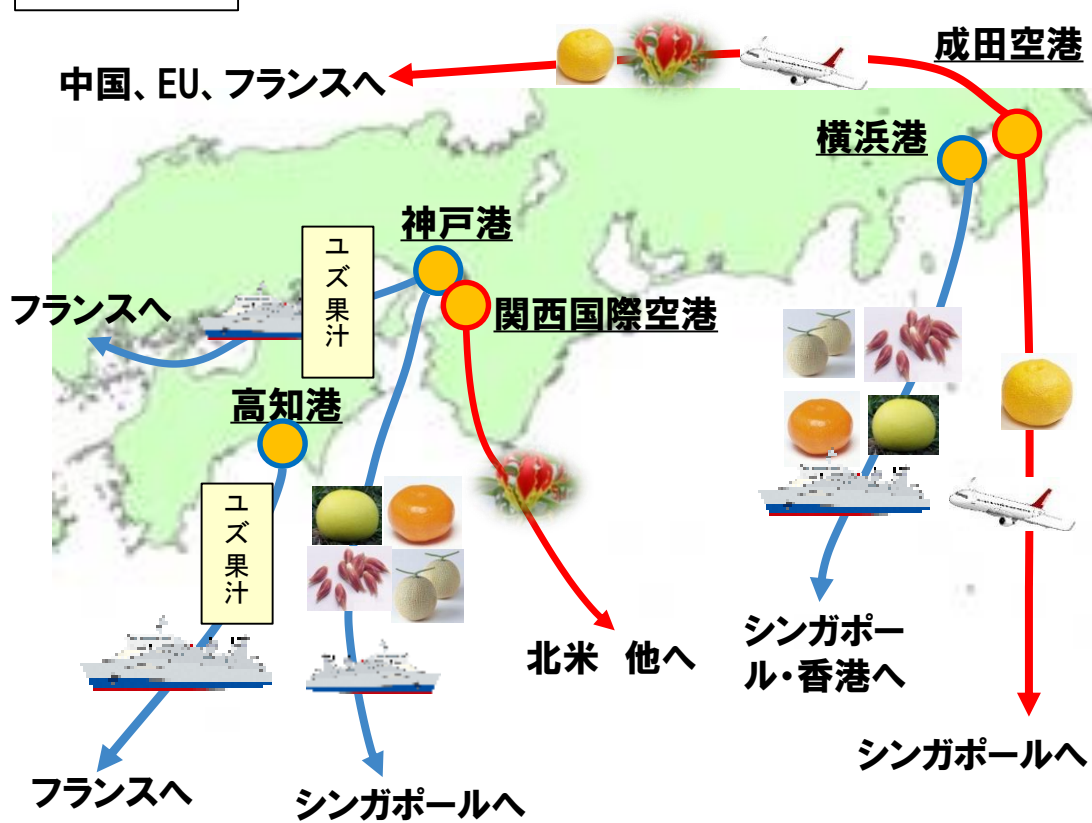
(出典:高知県の貿易)

1. 高知県産農林水産物の出荷状況(国内出荷、輸出)

(3) 農産物の輸出状況

- 一部の食品(ユズ果汁)については、高知港から海上輸送により輸出されているが、その他の農産品については、成田空港や神戸港、横浜港等の都市部の港湾・空港から輸出されている。
- また、市場経由で輸出された農産物については、その後の輸出量や物流ルートの追跡が困難となっている。
- 高知港を利用した輸出に転換する場合、輸送コストとリードタイムをいかに減らせるかが、最低限必要な条件である。

輸出状況



輸出品目	輸出先	輸出方法	備考
ユズ玉	フランス他	成田空港等から航空便	香港等は市場経由で輸出しており輸出量不明
ユズ果汁	フランス他	高知港等から海上便(リーファー)	
温州ミカン	シンガポール他	神戸港等から海上便(リーファー)	香港等は市場経由で輸出しており輸出量不明
土佐文旦	シンガポール	神戸港等から海上便(リーファー)	
ミョウガ	シンガポール他	横浜港、神戸港等から海上便	香港等は市場経由で輸出しており輸出量不明
メロン	シンガポール・香港 他	横浜港、神戸港等から海上便	
グロリオサ	北米・中国 他	成田空港、関空等から航空便	東京・大阪の市場

※平成28年実績
(産地・流通支援課調べ)

1. 高知県産農林水産物の出荷状況(国内出荷、輸出)

(4) 林産物・水産物の輸出状況

- 林産物については、主に高知港を利用して輸出されている。平成30年2月21日に、高知県産CLT(直交集成板)が、高知港から台湾へと輸出され、初の海外輸出が実現した。
- 水産物のうち、加工品は東京港や神戸港等により輸出されている。鮮魚については品質保持のため航空便が利用されている。水産物の多くは、陸送による国内引渡しで商社により他地域の商品と合わせて経済合理性の高い物流ルートが選択されるため、高知港の利用が低いものと考えられる。

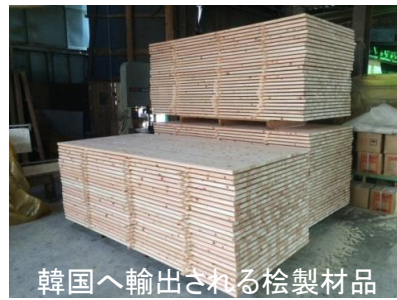
■ 高知県産林産物の輸出実績(平成28年)

輸出品目	輸出先	輸出方法	年間輸出量(m ³)	輸出量(前年比)	年間輸出金額(千円)
原木	韓国	高知港から海上輸送	550	56%	—
製材品	韓国	高知港から海上輸送	1,592	116%	82,898
製材品	ベトナム	高知港から海上輸送	621		23,301
製材品	中国	高知港から海上輸送	578		14,906

出典: 財務省貿易統計



バン詰めされる原木



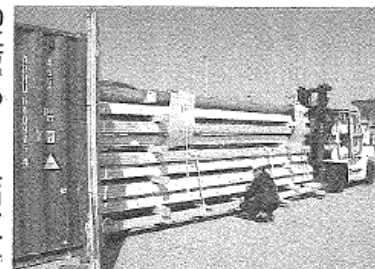
韓国へ輸出される桧製材品



日本経済新聞記事 平成30年2月21日 35面

強度や耐火性に強み

20立方以上のCLTをコンテナに積み込んだ(高知新港)



強度や耐火性が高い新建材CLT(直交集成板)が

新建材CLT台湾に輸出

銘建工業、高知新港から

試験的に高知新港(高知市)から台湾に初輸出される。銘建工業(岡山県真庭市)が初めて海外に輸出するCLTだ。高知県はコンテナ輸送にあたってのコスト分折や課題の洗い出しを通じて、同港からの輸出拡大につなげる。

CLTは宜蘭県で8月に完成予定の3階建てのレストランと有機農産物販売店の屋根材に主に使われるという。高知県産と岡山県産の木材が使用される。高知県木材産業振興課の担当者は「台湾は木造化への関心が高まっている木材利用の成長市場。県内企業とも連携して新しいマーケットを開拓したい」として

2. 高知港における農林水産物の輸出状況

- 高知港からは、海外直行航路が2つ、神戸行きの国際フィーダーが1つ就航。
- 平成30年2月より、APL社が新サービスを開始。神戸港から台湾までの航海日数が2日間(神戸港経由で最短)に短縮される。
- 高知港における農林水産物輸出については、製材や原木は増加傾向であるが、農水産物の利用は僅か。
- 輸出される農水産物の多くが、高知から陸路で他港に集約され、輸出されていることが統計にも表れている。

【コンテナ航路】

- 外資コンテナ航路 (中国・韓国行き、週1便)
- 外資コンテナ航路 (韓国行き、週1便)
- 国際フィーダー航路 (週1便)
- ⋯⋯ 外資コンテナ航路 (シンガポール行き、週6便)
- ⋯⋯ 外資コンテナ航路 (フランス行き、週1便)
- ⋯⋯ 外資コンテナ航路 (台湾、週15便)



出典: 国土交通省港湾局調べ(平成29年11月1日時点)

【高知港における農林水産物の輸出実績(トン)】

品目名	H24	H25	H26	H27	H28
野菜・果物	145	0	0	0	0
その他農産品	606	118	80	0	27
原木	361	0	835	879	466
製材	1,627	1,953	1,672	2,195	2,942
木製品	226	0	12	0	26
水産品	70	154	0	79	0
製造食品	491	698	926	755	596

○ 数字: 目的港までの所要日数

【林産品】
・県内で輸出されてる原木・製材のほとんどは高知港を利用している

【製造食品】
・中国、シンガポール、アメリカ等へ輸出